

デング熱に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. デング熱の病原体は、ヒトスジシマカの媒介によって感染するだけでなく、感染者の咳やくしゃみによってヒトからヒトに飛沫感染する。
2. デング熱は、フラビ菌科のデング熱菌を病原体とする感染症であり、潜伏期間は3～4週間で、突然の高熱で発症する。
3. デング熱は、発症後、頭痛、顔面紅潮、結膜充血などを伴う高熱が3週間程度持続し、続いて顔面から体幹に発疹が出現し、全身に筋肉痛が広がるが、致命的病態となることはない。
4. デング熱の血液所見では、発症後数日で末梢血の血小板減少や白血球減少が見られる。診断のための検査には、血液からの病原体の検出、PCR法による病原体遺伝子の検出などがある。
5. デング熱の主症状である痛みと熱に対しては、アスピリンの投与が有効である。血漿漏出などの症状が出現した場合には、循環血液量の減少を輸血により補うことが治療の中心となる。

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律」が平成25年6月19日に公布され、その一部が平成26年4月1日に施行された。次のうち、この改正により行われたのはどれか。

1. 精神保健福祉センターの設置主体が、都道府県から市町村に変更された。
2. 精神保健指定医の要件について、精神障害の診断又は治療に従事した経験年数が、3年以上から5年以上に引き上げられた。
3. 応急入院が医療保護入院に統合された。
4. 保護者制度が廃止された。
5. 保健所に精神保健福祉相談員を必ず置くこととなった。